



兵庫県立姫路東高等学校

令和2年5月8日発行

SSH 通信

創刊号

1 SSH推進部長挨拶

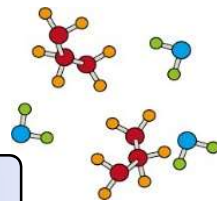
「さあ始めよう！」

SSH 推進部部长 川勝和哉

本校が数年かけて目指してきた、文部科学省のSSH（スーパーサイエンスハイスクール）の指定を受けることができました。本校の高い教育力と、今後の企画に大きな夢がある、と高く評価された結果です。特任専門官を配置する強力な布陣で臨みます。実施の柱は3つ、①海外への積極的な進出、②自由で大胆な研究、③大学レベルの学び、です。「サイエンス」と銘打たれていますが、すべての生徒を対象にして取り組んでいきますので、期待してください。

2 スーパーサイエンスハイスクール（SSH）とは

文部科学省が指定する制度で、高等学校において将来の国際的な科学技術人材を育成することを目指し、理数系教育に重点を置いた研究開発を行う事業です。さらに、高大接続の在り方について大学との共同研究や、国際性を育むための取組を推進します。



3 姫路東高等学校がめざす SSH

世界を牽引する人材育成と21世紀社会に求められる資質・能力を育む

姫路東高等学校

3つの挑戦

- 1 地球科学を中心とした国際的活動への挑戦
- 2 理系女子の育成と国際的な活動への挑戦
- 3 将来に向けて身に付けておくべき科学倫理観の育成

4 令和2年度のSSH活動予定

5月	探究ガイダンス（SSHガイダンス）	テーマ設定クラス討議
6月	課題研究班の構成 研究計画書提出	
9月	SSH東京研究（希望者）	東京大学訪問・学生との対話～国立科学博物館研修
9月～11月	各班で課題研究	
11月	京都大学で発表会	大学教授による講演会
12月	ポスター作成 発表準備	大学教授による講演会
1月	課題研究校内発表会（本校 外部に公開） 「サイエンスフェア-in 兵庫」でポスター発表（全員 ポートアイランド）	
2月	論文まとめ 大阪大学発表会（神戸国際会議場）※希望者は9月以降各種専門学会に参加	

5 SSHの事業の概要



6 文系・理系共通のSSHメリット



「問い」と「仮説」を立てる中で「観察力」「発想力」「情報収集能力」「読解」が身につきます

解決の方法を探る過程で体系的な「科学」の方法が学べます。レポート作成の指導が受けられます

研究発表をすることでプレゼンテーション能力、コミュニケーション能力が付き、「発信力」が養えます。

物事を多面的にとらえる力をつけ、進路実現を果たす力が養えます。

新入試で求められる「主体的に学び、課題を解決する力」を養います

高校の学習・活動として課題研究やプレゼンテーション等、学習履歴の内容が多様になります。